

第6学年学級活動(2)指導案

日 時：令和〇年〇月〇日(〇)〇校時
学 級：第6学年〇組〇名
場 所：6年〇組教室
授業者：〇〇 〇〇〇

1 題材 「情報を比較、分析してみよう」(出典：LINE みらい財団「SNS ノート」を参考に改変) 学級活動(2) イ よりよい人間関係の形成

2 題材について

(1) 児童の実態

本学級の児童の多くが、自分の思いや考えを周囲に伝え合い共有することができる。また、学級や学年、学校をよりよくしていきたいという思いが強く、前向きに活動する場面が見られる。一方、他者の意見と自分の意見が違った時に、自分の考えを一方的に押し付けようとしてしまうことがある。また、相手の意図を読み取れず早合点した言動を行い、トラブルになることもある。

4月当初より、「意見の違いを認め合い、前向きに行動できる」ことを目指した学級づくりに取り組んできた。音楽会や運動会などの行事や普段の交流の中で、自他の意見が食い違った時に相手の立場に立って考えることができるよう、指導を行ってきた。まだまだ子どもたちはぶつかることも多いが、じっくり考えて相手と向き合える場面が多くなってきた。引き続き、相手の考えに目を向け、自分の意見と折り合いをつけられるような機会を作っていくことが重要であると考えている。

(2) 題材設定の理由

高学年になり、個別最適な学びを進める中で1人1台端末を使って、情報を収集し、学習を進める機会が多くなってきた。しかし、オンライン上には、様々な情報が存在し、その真偽について判断する力を養う必要があると考える。本時では、情報を比較、分析することによって、情報の真偽を確かめたり、多様な視点に触れたりすることで様々な見方・考え方が存在することを学習する。たくさんの情報の中からいくつかの情報を選ぶ際に、その情報がどこで示された情報なのかを示すこのことを出典と言う。出典を示すことで、他の人がその情報を確かめたり、参考にしたりすることができる。また、出典を明らかにしていないと著作権の侵害にもつながりかねない。そのような著作権とのつながりも含めながら、情報を比較したり、分析したりすることのよさを学ぶ。

3 評価規準

よりよい生活を築くための 知識・技能	集団や社会の形成者としての 思考・判断・表現	主体的に生活や人間関係を よりよくしようとする態度
日常生活への自己の適応に関する諸課題の改善に向けて取り組むことの意義を理解し、健全な生活を送るための知識や行動の仕方を身に付けている。	日常生活への自己の適応に関する諸課題を認識し、解決方法などについて話し合い、自分に合ったよりよい解決方法を意思決定して実践している。	自己の生活をよりよくするために、見通しをもったり振り返ったりしながら、自主的に課題解決に取り組み、他者と信頼し合ってよりよい人間関係を形成しようとしている。

4 本時のキーワード

・ 出典

引用または参考にした著作物そのもののこと

5 本時のねらい

オンライン上の情報を比較、分析することによって、情報の真偽を確かめたり、多様な考え方に触れたりすることで、様々な見方・考え方が存在することを学習し、その上で自分のこれからの情報の扱い方を見直すことができるようにする。

6 本時の展開

時間	児童の活動	指導上の留意点	目指す児童の姿
導入(つかむ)	1. インターネットの情報を信じているかどうか、普段の生活を振り返る。 2. めあてを確認する。	○実際のインターネット画面を見せて、信じてよい情報かどうかチェックする。	
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;">自分で判断するために、どのようなことを大切にすればよいのだろう</div>			
展開(さぐる)	3. 教材文を聞く。		
<div style="border: 1px solid black; padding: 10px;"> <p>5年生のゆういちが、理科の時間に「メダカのたんじょう」について学習をし、家でもメダカを育てることにしました。メダカを育てるために、えさや水そうに入れる水草についても調べ、メダカが気持ち良くすごせるかんきょうを作ろうと、一生懸命でした。</p> <p>ある日、ゆういちが学校から家に帰り、いつものように水槽のメダカの様子を観察していると、水草にとう明な丸いものが見つきました。「あっ、たまごだ！」ゆういちが、教科書で見たメダカのたまごの写真と同じだったので、すぐにそのとう明な丸いものがメダカのたまごだとわかりました。ゆういちが、うれしくて大喜びし、すぐにたまごのかえし方について、インターネットで調べました。すると、ゆういちが見たページには、『たまごは、えいようがたくさんあるので、そのままにしておく、大人のメダカが食べてしまうことがあります。すぐに、水そうから取り出し、水道の水を入れた入れ物で、たまごがかえるまで分けて育てましょう。』と書かれてありました。早速、ゆういちが、水道水を用意しようとしたのですが、ふと以前読んだ本に書かれてあったことを思い出しました。それは、「メダカを育てる時は、水道水にすぐ入れると弱ってしまうことがあるので、1日おいた水道水にメダカを放して飼うといいですよ」という内容でした。</p> <p>ゆういちが、どちらを信じるとよいか困ってしまいました。</p> </div>			
	4. どのように対応するとよいのか考える。 (ワークシート1) 【出典】の言葉の意味を確認	○同じような経験がないか児童に問いかける。 <div style="border: 1px solid black; background-color: #e0ffff; padding: 2px; display: inline-block; margin: 5px 0;">感情を確認</div> ○情報の真偽を確かめるためには	

<p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">(見つける)</p>	<p>5. 以下のテーマから選択し、肯定意見と否定意見を検索し、引用する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・昆虫食 ・生成 AI の活用 ・小学生がスマートフォンをもつことについて ・自転車のヘルメットの努力義務について (ワークシート 2) <p style="background-color: yellow; border: 1px solid black; padding: 2px;">対話するポイント</p>	<p>どのような方法で確かめると良いか考えられるようにする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・出典を確かめる。 ・いろいろなサイトを比較する。 <p style="background-color: cyan; border: 1px solid black; padding: 2px; text-align: center;">原因を特定</p> <p>○情報を比較、分析することによって、情報の真偽を確かめたり、多様な視点に触れたりすることで様々な見方・考え方が存在することを学習する。</p> <p style="background-color: cyan; border: 1px solid black; padding: 2px; text-align: center;">対応を検討</p> <p>○インターネットの検索機能を使い、テーマのメリット・デメリットに関する情報を集める。</p> <p>○同じテーマを選んだ児童同士で情報の真偽について確認する。</p> <p>○確かな情報かどうか、信頼できるサイトかどうかについても意見交流する。</p> <p>○それぞれのテーマについて、肯定・否定意見の児童を一人ずつ発表する。</p>	
<p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">まとめ(決める)</p>	<p>5. 肯定・否定意見を踏まえた上で、これからの自分の意見や行動について考える。 (ワークシート 3)</p> <p>6. 情報を集めるためにこれから大切にしていきたいことをまとめる。 (ワークシート 4)</p>	<p>○交流する中で、肯定・否定意見を聞いた上で、自分の考えが述べられるようにする。</p> <p style="background-color: cyan; border: 1px solid black; padding: 2px; text-align: center;">行動の準備</p> <p>○何を大事にして自分の行動を決めているのか、明らかにするようにする。</p> <p>○「立ち止まる・考える・相談する」をどの場面で働かせるとよいか考えられるようにする。</p> <p>○本時で使用したワークシートを持ち帰り、家庭と学びを共有する機会を設ける。</p>	<p>自身の経験から、真偽を確かめる手立てについて考えたり、友達と交流したりする中で、最適解や納得解を見つけている。</p> <p>【思考・判断・表現】</p>

